

兵庫県
議会議員

内藤 兵衛



一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。

県政NEWS No.39 2023.9

新兵庫県議会スタート

第126代県議会議長に就任

新時代を切り拓く改革に挑む



春の統一地方選・県議会議員選挙を経て、4月30日より新任期がスタートしました。初心を忘れず、県議会議員としての責務をこれまで以上に果たすため誠心誠意努力して参ります。

新任期最初の第362回臨時県議会の開会日5月16日には、議長選挙が執行され、多くの議員の推挙を得て、第126代県議会議長に就任いたしました。兵庫県が新しい時代に踏み出す先駆けとなる年に議長に就任することは、身に余る光栄であり、その重責に身の引き締まる思いです。二元代表制の一翼を担う議会の代表としてリーダーシップを発揮し、齋藤知事とともに県政を前に進めてまいります。

県民ニーズを的確に把握し、議会の監視機能や政策提言機能の強化に努め、住民福祉の向上をめざして議会審議の活性化を図ります。県議会議長としての使命を果たすことで、ふるさと西脇多可、兵庫県、そしてこの国に生まれたことを誇りに思える社会をつくり、残していく決意です。新時代を切り拓く改革に挑み、「躍動する兵庫」の実現に粉骨砕身の覚悟で走り続けます。(第4面に議長就任あいさつ掲載)

県政改革が進展 県の貯金127億円に

齋藤県政の大きな柱の一つ県政改革の進展により、県の貯金に当たる財政基金残高が令和5年度末に127億円となる見込みです。齋藤知事は100億円の目標を掲げ、事務事業の見直し、民間活力の積極活用など効率的な財政運営への転換を進め、議会としても協力してきました。基金残高が100億円を超えるのは30年ぶりです。齋藤知事は、改革の成果を踏まえ「攻めの県政」に舵を切ることを表明しています。



県議会で県政方針を説明する齋藤知事

教育環境を充実・強化 6年間で300億円を投資

躍動する兵庫を支えるのは人であり、新時代を切り拓くためには教育への投資が必要不可欠です。

このため今年度から令和10年度までの6年間で総額300億円を投資し、児童生徒の学校生活環境の充実を図ります。これによって、母校やふるさとに愛着を持つシビックプライドの醸成に繋がり、将来、ふるさと兵庫で活躍する生徒が増えることが期待されます。

さらに、スクールサポートスタッフの全校配置

事業名	内容	事業費
部活動等応援事業	備品整備、グラウンド芝生化等	12億円
県立学校施設の環境充実	空調整備、エレベーター整備等	126億円
新たな特別支援学校の整備	校舎の増築・建替、発展的統合	162億円
合計		300億円

成長産業集積の加速化 産業立地条例を改正

兵庫経済の持続的発展には、次世代を牽引する成長産業の育成が不可欠です。産業立地条例を改

産業立地条例改正のポイント

支援内容(設備補助率)

[現行]		[改正後]			
地域	通常	地域	通常	重点支援業種	水素関連
促進	5%	多自然	5%	7%	10%
一般	3%	ベイエリア	5%	7%	10%
		一般	3%	7%	10%



投資促進地域の設定

- 多自然地域
 - ・交通利便性・労働力供給面で立地条件が不利な地域へ支援のため設定
- ベイエリア地域
 - ・万博、カーボンニュートラルポート形成計画の推進のため設定
 - ・MICE機能等を有する高級ホテルを対象化

躍動する兵庫へ攻めの県政を展開

令和5年度は、「躍動する兵庫」の実現に向けた勝負の年です。令和5年度当初予算(総額:4兆2782億円)は、「躍動する兵庫、新時代への挑戦」をテーマに編成されました。「対話と現場主義の徹底」を基本方針に、積極、果敢な事業展開を図っています。さらに、少子化・人口減対策は待ったなしの課題であり、地域創生の加速化へ「攻めの県政」を展開していきます。

(小中学校全校)、県立学校業務支援員の配置拡充など教職員の働き方改革にも取り組みます。



競技用具、楽器など部活動の備品や空調等の環境整備を進めます

正し、新エネルギー・環境等5つの分野を成長産業として位置付け、企業の設備投資に対する支援の充実、中小企業の補助要件を緩和しました。

さらに、多自然地域やベイエリアを投資促進地域に設定し、重点的に支援し、新たな雇用に加え、若者の定住や移住の促進につなげます。

福祉、子育て環境を充実 誰も取り残さない社会へ

誰も取り残さない県政の実現には、支援を必要とする方のニーズを丁寧に、かつ的確に把握して支援の輪を広げ、必要な対策を講じることが重要



神戸まつりで齋藤知事らと一緒に、ひょうごフィールドパビリオンをPRしました

2025万博に向けた取組 フィールドパビリオンを展開

2025年の大阪・関西万博を機に国内外からの多くの来場者を兵庫県に呼び込み、躍動する兵庫の実現へ、そして万博の先の未来へ大きく羽ばたいていかなければなりません。

その取組の核となるのが、ひょうごフィールド

パビリオンです。SDGs体験型地域プログラムを提供し、多くの人に来て、見て、学び、体験していただきます。

156件が認定され、このうち5件のプレミアム・プログラムには播州織のものづくり体験も選ばれました。今年度は人材育成をはじめ、コンテンツの磨き上げを伴走型で支援しています。機運を盛り上げるため、オール兵庫での活動展開を目指しています。

今後の方策 若者・Z世代応援パッケージの取りまとめ

少子化・人口減少対策として、これから結婚・子育てする若者・Z世代を3年間程度を集中期間として支援します。

「学び」「働き」「子どもを産み・育て」「住み」やすい兵庫を目指す姿として、躍動カフェや学生未来会議などでの意見のほか、アンケート調査等を踏まえて施策のパッケージ化を図ります。

【主な取組】

- 高等教育の負担軽減
 - 県立大学の授業料無償化、奨学金返済支援 等
- 生徒ファースト予算(県立高校支援の充実)
- 不妊治療支援の強化
- 新婚・子育て世帯向け住宅の提供 等

公民連携の新たな展開

山積する課題、県民ニーズの多様化に対応し、スピード感をもって県政を推進するには民間活用の活用が欠かせません。公民連携プラットフォームを通じ行政が本来主導する分野にも民間の力を取り込んだ新たな展開を行うとともに、SDGs 公民共創プロジェクトを本格的に展開するなど公と民間がパートナーとなった新たな県政を推進します。

県政の推進基盤の構築



公民連携型アンテナショップとして東京銀座にオープンしたマイスター工房八千代を訪問

県民の心を心として「躍動する兵庫」を実現

内藤 兵衛 第126代議長 就任あいさつ

本年は躍動する兵庫の実現に向けた極めて重要な年。新時代への挑戦はかつての成功例をただ踏襲するだけでは、その実現は成しえません。失敗を恐れず県民とともに前を向き、果敢に挑戦し続けることが求められます。

地方議会の役割や議員の職務を明確化する改正地方自治法が成立しました。議会が自治体の重要な意思決定を担い、議員は住民の負託を受け誠実に職務を行わなければならないことなどが法律に明記されました。我が国の戦後の繁栄は経済発展に帰するものでありますが、これを確かなものとする重要な役割を果たしたのは、安定した地方自治にあったとの識者の指摘があります。こうしたことに思いをいたし、我々議員は改めてその職務の重さを自覚して、県民の負託に全力で応える必要があります。

30人の新人議員を迎えたこの新議会において、



県民にとってより身近な存在となるよう議会改革の不断の取り組みをさらに進めてまいります。

新しい時代を迎えようとしている重要な時期に議長という要職を担うことになりました。私ごとでございますが、私の父が第108代議長として

18年前に感じたであろう胸中を思う時、任の重きをひしひしと感じ、その重責に身の引き締まる思いがあります。

自然災害等々、人は時に思いもかけぬ不運に見舞われることがあります。この不運を不幸に転じさせない、あらゆる手立てを講じることに政治の本旨が存すると確信しています。

県民の心を心として誰もがワクワクする「躍動する兵庫」の実現に向け、議長として議会の公正で円滑な運営とさらなる活性化に努め、県民の負託に応えられるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

第50回神戸まつりパレード



4年ぶりに開催された神戸まつりメインフェスティバルのパレードに齋藤知事とともにオープンカーに乗り込み参加しました。(5月28日)

内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会



総理大臣官邸において実施された懇談会に出席しました。懇談会には岸田内閣総理大臣や松本総務大臣などが出席され、全国の都道府県議会議長等と意見交換を行いました。(7月20日)